

2020年FIA-F4選手権シリーズ第3大会 参戦報告書

VEGAPLUS 阿部 正和

2020年FIA-F4選手権シリーズ

第3大会（第7戦／第8戦／第9戦） 参戦レポート

11月7日（土）～8日（日）、ツインリンクもてぎ（栃木県）で2020年FIA-F4選手権シリーズ第3大会（第7戦、第8戦、第9戦）が開催されました。VEGAPLUSからは#5小出峻（1999年10月26日生まれ、21歳）、#7太田格之進（1999年6月18日生まれ、21歳）が出場しました。

太田、6位に入賞

■公式予選（30分間）：天候/晴れ 路面/ドライ



快晴のツインリンクもてぎで午前8時20分から公式予選が始まりました。コースオープンするや太田は早めにコースイン、一方小出はほぼ最後尾からコースインして自分のポジションを探りながらウォームアップに入りました。太田、小出とも、上位陣が2分を切るペースに乗せても慎重にウォームアップを続けました。20分間のセッション折り返し近くなった5周目、太田がまずタイム

アタックに入り1分58秒952を記録しました。続いて小出も5周目タイムアタックに入って1分59秒018を記録しました。太田は4周続けて1分58秒台で走行しましたがベストは58秒405にとどまりました。

一方小出は1周毎にタイヤをクールダウンしてタイムアタックを行い、徐々にタイムを上げて9周目に1分58秒335を記録、ベストタイムで太田のタイムを上回りました。太田は9周目にクールダウンして再びタイムアタックに入りましたがタイムは59秒台にとどまりベストタイム、セカンドベストタイムとも更新することはできませんでした。

第7戦公式予選結果

予選10位 #5小出 峻 1分58秒335

予選12位 #7太田格之進 1分58秒405

第8戦公式予選結果（タイムアタックのセカンドタイム順に決定）

予選9位 #5小出 峻 1分58秒389

予選11位 #7太田格之進 1分58秒550

VEGAPLUS

■第7戦決勝レース（13周）：天候/晴れ 路面/ドライ

スタートで小出は出遅れ、太田はうまく加速して順位を上げて太田は7番手、小出は11番手でオープニングラップを終えました。2周目にセーフティーカーが入り、4周目から再スタートが切られましたが、小出は中団の集団に取り込まれ、順位を13番手へ落としてしまいました。そして5周目、V字コーナーで1台がダートにタイヤを落としコース内へ切り込んできて小出の左リヤタイヤに接触、小出のタイヤはパンク状態となったためそのままピットへ帰還、リタイアとなりました。このアクシデントで再びセーフティーカーが入りました。9周目再スタートが切られましたが、上位の1台が単独スピンをしたため太田のポジションは繰り上がって7番手となりました。その後、3番手以下がテールトゥノーズでつながり激しい格闘が始まり、太田は6番手に抜け出して単独走行に持ち込むと、そのままフィニッシュしました。



【FIA-F4 選手権シリーズ第7戦・レース結果】

#7 太田格之進 決勝6位 (29分54秒615 ベストタイム 1分58秒814)

#5 小出 峻 決勝5周リタイア ベストタイム 2分01秒727)

■第8戦決勝レース（13周）：天候/晴れ 路面/ドライ



太田、小出とも第7戦で気になった特性を修正するため大幅なセッティング変更を施してレースに臨みました。スタートではまた太田がうまく加速し、小出の前に出て太田が11番手、小出が12番手でレースを始めました。その後小出は太田を攻め、2周目のS字手前で順位を入れ替えました。小出はバックストレートでさらに38号車をオーバーテイクして9番手へ進出しましたが、最終

コーナーで姿勢を崩して38号車、太田に先行されまた12番手へ後退してしまいました。3周目、小出は再び太田を攻めて11番手へ復帰しました。6周目、V字立ち上がりでアクシデントが発生したためセーフティーカーが介入。8周目からレースが再開しました。ところがミスをした小出は再び太田の先行を許し12番手へ後退しました。その後、上位車が交代したため順位が繰り上がり、10番手太田と11番手小出は接近戦を繰り広げることとなりました。2台は最終周に38号車をオーバーテイクしてフィニッシュしました。レース後、上位車両にペナルティーが下ったため、2台の順位はさらに1つずつ繰り上がりました。

【FIA-F4 選手権シリーズ第8戦・レース結果】

#5 小出 峻 決勝8位 (27分24秒292 ベストタイム 1分59秒040)

#7 太田格之進 決勝9位 (27分24秒357 ベストタイム 1分58秒920)

VEGAPLUS

■第9戦決勝レース（13周）：天候/晴れ 路面/ドライ



前日に引き続き晴天に恵まれた午前9時、第9戦の決勝レースが始まりました。スタート時、7番手からスタートした太田はうまくポジション取りをしてクロスをかけ6番手へ浮上しました。ところが、スタート直後の1コーナーでアクシデントが発生、さらにV字コーナーでもアクシデントが起きたためセーフティーカーが介入しました。この時点で太田は6番手、小出は18番手につけて

いました。

セーフティーカーは3周終了時にコースを離れ、レースは4周目から再開しました。太田は徐々に前走車から引き離されるとともに後続車から攻められ、5周目の第1コーナーから2コーナーでインを許して7番手に後退しました。さらに後続から攻められた太田は6周目一旦8番手に後退しましたが、激しく争って7番手を取り戻しました。一方小出は4周目に16番手、5周目に15番手と順位を上げていきました。

その後太田は7番手を守っていましたが11周目、後続車のオーバーテイクを許して8番手へ後退しました。小出は9周目に14番手、12周目に13番手へと順位を上げていきました。そしてチェッカーフラッグが振り下ろされました。

この週末、太田は苦しみながら選手権ポイントを8点、2点、4点と獲得、累計を48点に伸ばしてランキング9番手につけました。一方小出は第8戦で4点を獲得して得点を12点としランキング12番手につけました。今季最終大会（第10戦、第11戦、第12戦）は、11月28～29日に富士スピードウェイで行われる予定です。

【FIA-F4 選手権シリーズ第9戦・レース結果】

#7 太田格之進 決勝 8位（28分47秒336 ベストタイム 1分59秒283）

#5 小出 峻 決勝 13位（28分51秒806 ベストタイム 1分59秒097）

VEGA PLUS

■2020FIA-F4 選手権シリーズポイントドライバーランキング（第9戦終了時点）

9 番手 #7 太田格之進 48 点

12 番手 #5 小出 峻 12 点

（1 位 25 点、2 位 18 点、3 位 15 点、4 位 12 点、5 位 10 点、6 位 8 点、7 位 6 点、8 位 4 点、9 位 2 点、10 位 1 点、）

■2020FIA-F4 選手権シリーズポイントチームランキング（第9戦終了時点）

7 番手 VEGA PLUS 50 点

（各チーム最上位のみ計上）

●ドライバーズコメント：#5 小出 峻



「練習で多少オーバーを感じて、セッティングをいろいろトライして予選でようやく自分としては良い感触になって、順位はそれほど上ではありませんでしたが最低限の走りはできたと思っています。そこからレース1に向けてセッティングを施してみたらスイートスポットを外してしまったようで、ズルズル後

退してしまい、S字の立ち上がりで前のクルマが巻き込んできたときに、避けきれずに左のリヤタイヤが当たってパンクしてしまいました。レース2はセッティングを大胆に変えてみたら良い方向へ向いたようですが、前とも後とも大接戦を続けて結局スタートとほぼ同じ結果で決着しました。レース3はレース1の成績で後方からのスタートになりましたが、良いペースで順位を上げられました。ただポイントを取るところまで行きたかったんですけど、無理でした。まだまだクルマも改善したいし、自分もオーバーテイクの仕方をもっとうまくできるようになりたいです」

●ドライバーズコメント：#7 太田格之進



「今回は3戦ともスタートは良かった。特にレース3はスタートが良くて、もっと前へ行けそうな感じだったんですけど、絶対的なレースペースが悪くてなかなか前へ上がれず、守るばかりの厳しいレースになってしまいました。セッティングもいろいろ変えたし、それ以前にストレートで離されてしまうのでどうにもなりません。混戦になったときには自分のレース勘で前に出られ

たりするんですが、そこから先へ行けません。クルマの症状はわかっていながら、それをどう追求して解決すればいいのかがまだ見えません。根本的になにか変えないといけないのかどうか、とにかくチームと話して頑張ります」